

広報に関するビジョン

科学技術振興機構

平成21年3月

1. 基本的考え方

JSTの長期ビジョン(「JSTの能力強化」における「発信力の強化」)を踏まえつつ、5年程度を視野においた**広報ビジョン**を定め、計画的総合的に広報を進めることとする。その際、次の基本的な考え方に留意することとする。

JSTの限られた業務の中の広報にとどまらず、**日本全体の科学技術の中でのJSTの役割を明確に説明することにより説得力の向上を目指す**

広報の実施に当たっては、**多様な受信者を想定する必要がある**、報道機関のみならず、**広く国民各層に受信者に応じた細かい情報提供をはかる**。

国民・納税者、国会議員、行政、地方自治体、地域住民、経済界や民間企業、研究者、学生、学校の生徒や教師、科学コミュニケーターやコーディネータ等

科学技術活動の現場と科学技術政策の間にいる特色を踏まえた情報発信を行う。

「発信の望まれる情報」と「多様な受信者」

付属説明資料

■ : 既対応 □ : 未対応

受信者 望まれる情報		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
		国民・納税者	政界・行政	地域自治体	経済界・企業	研究者・研究機関	科学館 コミュニケーター	初等中学校・教師	カフェ参加者 科学館来場者	子供たち	新聞・テレビなど マスメディア	地方紙	雑誌・ミニコミ	他のフアンド 標準関係者	JST職員・家族
1 (A)	用途の内容	■	□	□	□	-	-	-	-	-	□	□	-	-	□
	活動報告 / 成果	■ 各	□	□	□	■ 各	■ 各	■ 各	-	-	■ 各	■ 各	□	-	□
	生活へのメリット	■	□	□	□	-	-	-	-	□	■	■	□	-	□
	今後の見込み	□	□	□	□	□	□	□	-	-	□	□	-	□	□
2 (B)	政策の実施結果	■ 各	■ 各	□	■ 各	■ 各	■ 理	■ 理	-	-	■ 各	■ 各	□	-	-
	国民の意見	□	□	□	□	□	□	□	-	-	□	□	□	-	□
3 (C)	地域活動	■ 各	□	■ 地	□	-	-	-	-	-	■ 各	■ 各	□	-	-
	中央の動き	□	□	□	□	□	□	□	-	-	-	□	□	-	-
4 (D)	開発支援	-	-	■ 産	■ 産	-	-	-	-	-	■ 各	■ 各	-	-	-
	技術シーズ / ニーズ	-	-	■ 産	■ 産	■ 産	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	人材・就職	-	-	■ 情	■ 情	■ 情	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5 (E)	ファンディング	-	-	■ 各	■ 各	■ 戦	-	-	-	-	■ 各	■ 各	-	-	-
	技術移転の支援	-	-	■ 産	■ 産	■ 産	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6 (F)	活動シーズ / ニーズ	-	-	-	-	□	■ 理	-	-	-	-	-	-	-	-
	リテラシー / スキルの向上	■ 理	-	-	-	-	■ 理	■ 理	■ 理	■ 理	-	-	-	-	-
	活動拠点	-	-	-	-	-	■ 理	-	-	-	-	-	-	-	-
7 (G)	教材支援	-	-	-	-	-	-	■ 理	-	-	-	-	-	-	-
	教育環境	-	-	-	-	-	-	■ 理	-	-	-	-	-	-	-
8 (H)	一般知識	■ 理	-	■ 理	-	-	■ 理	■ 理	■ 理	■ 理	-	-	-	-	□
	やさしい科学	■ 理	-	■ 理	-	-	-	-	■ 理	■ 理	-	-	-	-	-
9 (I)	たのしい科学	■ 理	-	■ 理	-	-	-	-	■ 理	■ 理	-	-	-	-	-
	宿題の対策	■ 理	-	■ 理	-	-	-	-	-	■ 理	-	-	-	-	-
10 (J)	最新情報	■ 各	□	□	□	-	□	□	■ 理	-	■ 各	■ 各	□	-	-
	インパクト	□	□	□	□	-	□	□	-	-	□	□	□	-	-
	周辺情報	□	□	□	□	-	□	□	-	-	□	□	□	-	-
	画像・映像	□	□	□	□	-	□	□	-	-	□	□	□	-	-
11 (K)	地方関連情報	□	-	□	-	-	-	-	-	-	■ 各	□	-	-	
12 (L)	おもしろい情報	□	□	□	-	-	□	-	-	■ 理	-	□	-	□	
	専門的な情報	-	-	-	-	□	□	-	□	-	-	□	-	-	
13 (M)	JSTの方向性	□	□	□	□	□	□	□	-	-	□	-	□	□	
	機関支援	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	□	□	
14 (N)	他部署の動き	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	■ 各
	人の紹介	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	■ 各

- 戦略
- 産連
- 地域
- 情報
- 理増
- 理数
- 各部

2. 新たな広報の基本方針

(1) 広報に関する意志決定

広報は、**経営の意志を明確に示す**ことが重要である。一方、広報は特定部局のみで行うものではなく、**職員全体で広報を進める**ところから、**職員全体の意識の醸成**も必要である。

(2) JST内部での広報能力の向上

職員が広報の理念を持つこと、必要な広報能力を持つこと、全体の立場から当該業務を理解説明する能力を持つことが必要である。またその際、取り扱う業務が多種多様な先端的研究に関連することが多く、科学的な分析を行うことも求められる。

(3) 広報手法の開発

在来の広報手法にとどまらず、創造的な広報手法の探索に努める。

JSTの業務の先端性にかんがみ、JST内部に蓄積しているデータを有効に活用し、理解が促進される広報を目指す。

(4) 新しい広報の進め方

広報においては、JSTの業務に関する情報を、単に新聞や放送に提供するだけでなく、様々な媒体を活用し、多様な国民各層への発信を目指すことが必要である。このため、広報の専門部門が現在事業を実施している部門の広報・情報発信活動との連携・協力を図りつつ、特に新しい手法や考え方について提案を行い、JST全体として広報を実施する体制を整備する。

3. 新たな広報の推進体制

(1) 広報の重要事項の決定

広報に関する経営の意志を明確に示すため、**広報に関する重要事項を経営戦略会議で継続的に検討(*)**する。広報の進め方については、本ビジョンで定めるところの他、経営戦略会議で審議する方針に従って行う。

* 四半期に一度程度定期的に検討。

(2) 新しい広報実施体制の整備

新しいエキスパート制度における**広報エキスパートの育成**

広報も特異で専門的な能力を必要とする職種であり、将来的には人事のエキスパート制度の中で広報エキスパートの育成をめざすものとする。

広報タスクフォース等による新しい推進(タスクフォース制)

広報の実施に当たっては、既存の広報部門のみが行うのではなく、各部に在籍する職員で構成する**広報タスクフォース**を設置し、タスクフォースのメンバーによる主体的な広報活動を目指す。

広報ポータル部による支援の充実

広報タスクフォースの活動を支援するため**広報の教養カリキュラム**を整備する。

広報タスクフォースの活動を支援するため、OJTによる**広報の進め方の体制**を整備する。

新しい広報実施体制～広報ビジョン実現に向けた例

1. 広報エキスパートの育成(案)

JST職員の情報発信マインドの確立 / 内部からの情報発信体制の確立

広報ビジョン10箇条の制定とカードの作成、ロゴの作成
 新しいエキスパート制度における情報発信エキスパートの育成
 情報発信エキスパート研修(タスクフォース)制度の開始
 広報部門による研修制度の運用
 事業現場における情報発信の目標管理シートへの記載、人事評価への反映
 ファンディング等を通じて蓄積したデータを用いた職員による研究
 職員に対する公募と理事長裁量経費による支援
 優れた研究成果に対する表彰制度
 事業部門と広報部門の補完、協力関係の構築
 広報部門による取材と提案

2. 情報発信エキスパート研修(タスクフォース)について(案)

事業部門の職員で構成するタスクフォースの設置 / 広報・ポータル部による支援

情報発信・収集に関する「エキスパート候補生チーム」の結成(想定規模:12人×6グループ)
 出身事業部門の活動を持ち寄り、チームによる情報発信のブレイクストーム
 候補生による研究の促進・広報素材の発掘
 広聴活動の企画実行
 候補生による企画提案、実行
 本の企画執筆、ホームページのコラム担当
 広報部門による支援
 文章力養成講座、コミュニケーション力養成講座、感性養成講座
 メディアリテラシー養成講座
 広報部門にメンター制の確立

4. 新たな広報の進め方

広報ビジョンに応じた**広報年度計画**の策定

- ・本広報ビジョンを実施するための広報年度計画の策定を行う。
- ・広報年度計画は、経営戦略会議で審議し、業務運営会議、理事会に付議する。

政策的視点からの広報イベントの実施(政財界、行政)

- ・JSTの業務に関連する科学技術政策シンポジウム、セミナーを実施する。(年度内に実施)

ポータルサイト、刊行物の新しい企画(一般国民を対象)

- ・ポータルサイトの内容の充実、新しい出版の企画。

ニューズレターなどの企画(ユーザーの開拓)

- ・広報情報の新しい発信方式と新しいユーザー開拓の検討

新しいプレス発表方式の採用(報道機関)

- ・従来のプレス発表方式の改善(年度内に実施)

国際戦略を踏まえたきめ細かな国際広報の実施(外国)

- ・A A A Sへのブース出展など国際的な広報の場へ参加(年度内に実施)

広聴活動の展開の検討

- ・広報と補完的關係をなす、JST事業に対する広聴活動を企画する。